

STEM REPORT コスモ SE 2021.3.16 TUE

3月16日（火）1, 2限、コスモサイエンスコース1年生 Science English の授業として自然科学研究機構外国人研究者による授業③「サイエンス・イングリッシュ」を実施しました。

すべて英語の授業、北高ではすっかりお馴染みに。コスモ1年生にとっては初めての体験です。基礎生物学研究所 Gergo Palfalvi 先生に、ご出身のハンガリーのこと、大学での専攻をどのように選んだか、岡崎で研究することになったきっかけ、食虫植物の研究についてたっぷりと語っていただきました。英語力と科学力をフルに使う2時間でした。

同日の午後、英語部と希望者を対象に「サイエンス&トーク」としてご指導いただきました。和やかな雰囲気のもと、国際的でアカデミックなトーク会となりました。

岡崎には7年前に来ました



科学者は何をする？
①疑問を見つける
②仮説を立てる
③実験を行う
④結果を分析
⑤新たな疑問を見つける
結果をまとめる

サイエンス&トークは
アットホームな雰囲気



受講生の声：話の内容の一部に、生物で学んだことが出てきて、科学的なことは世界共通の事実だと思つくと、とてもわくわくした。覚えた英単語がいくつか出てきて、嬉しかった。食虫植物は様々な方法で虫を集めていて、土から得られない栄養を手に入れて子孫を残そうとしていて、独自の進化というものを感じることができた。岡崎にも食虫植物が存在していることを知り、探してみたくなった。いい実験をして、人にしっかり伝えられるように、わかりやすいまとめ方も知りたいと思つた。